

## Executive Marketing Forum

# 「動かす言葉」

～「言葉」で価値を共有する。言葉で「市場」を作り出す。～

開催日時 | **第一回** 2017年2月15日(水) 14:30～17:00 (受付 14:00～)

会場 | **Hakuhodo Learning Studio**(博報堂ラーニングスタジオ)

〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館11階

**アクセス** 東京メトロ千代田線「赤坂駅」5a出口1分

参加定員 | **60名** 参加費 | **¥27,000**(事前登録制)

参加対象 | 経営層、マーケティング、経営企画、商品企画、営業企画、  
広報宣伝部門の管理職の方々

## 開催 趣旨

今や、デジタル化によってあらゆるモノがつながる時代となり、産業構造の地殻変動が見えないところで生じつつあります。企業を牽引するリーダーの皆様は、この変化に適応して生き残るための戦略と取り組みを考える上で、**本来自社がもっている(自分たちも気づいていない)「本質的価値」を見出し、移り変わる世の中との関係性を見直し、創造し続ける**ことが、必要になっています。

今起きている変化を紐解くと、日本企業が得意とする従来の価値提供や競争軸である「モノの製造・販売」から「コト(経験価値)」に代表される、「**新たな顧客価値の提供**」へと移行しているのではないのでしょうか。この変化を注視すると、これからの企業には「モノという形ある目に見える商品」から「目に見えないサービスや価値の提供」ができるかどうか、まさに**新たな『思考』と新たな『伝え方』**を駆使し、自社の価値提供のあり方を考えるマーケティング力とイノベーション力が、必要かつ急務になったといっても過言ではありません。また、この変化に対応していくため、**自社内におけるリーダーの発信や伝達、まさにそのエッセンスとなる『言葉』が、変革への重要なファクターになります。**

本フォーラムでは、『リーダーシップ』×『伝える(言葉)』をテーマに、**次代に備え、社内・市場へ向けた自社の価値の捉え方と、新たなマーケティング思考方法を紐解きつつ、その価値を伝える『言葉』のチカラを、実際のビジネスへ活かすイノベーションへとつなげるためのヒントを検証**します。

第一回目となる今回は、クルーズトレイン『ななつ星in九州』の企画から運行までの陣頭指揮を取られた九州旅客鉄道の唐池 恒二 様をゲストにお招きし、そのご経験を踏まえた「伝えること」がトップマネジメントの役割として重要であるとのお話から、その背景にある『思考』や『言葉』の持つ意味・効果が、どのようにこれからの時代のビジネスに作用してくるのか? 対談と補足セッションを交え、多くの発見とヒントを見出す機会にできればと思っています。まさに、このフォーラムでしか味わうことができないエッセンスを、参加者の皆様とともに共有していく、そんな場となれば幸いです。

共催: 株式会社 博報堂 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 協力: 博報堂マーケティングスクール

 [プログラム詳細・ご登録はこちらから](#)

<http://www.b-forum.net/emf201702>

お問い合わせ先・発送元: 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F TEL: 03-3518-6531 (受付時間 9:30～18:00 ※土・日・祝日を除きます)

## オープニング リマークス

14:30-14:35 株式会社 博報堂 マーケティングスクール

## ゲスト講演 『ななつ星in九州』を成功に導いたカリスマ経営者が語る、リーダーの心得

14:35-15:35 夢みる力が「気」をつくる

- 「気」を満ち溢れさせる経営とは
- 夢を描き展望を示す ～新たな事業の創造からプロジェクト完遂までのエピソード
- 「伝えること」がトップの仕事

九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 唐池 恒二 氏

**プロフィール** 1953年4月2日大阪府生まれ。1977年京都大学法学部を卒業後、日本国有鉄道に入社。1987年国鉄分割民営化に伴い、九州旅客鉄道(JR九州)に入社。「ゆふいんの森」や「あそBOY」等のD&S(デザイン&ストーリー)列車の運行をはじめ、博多～韓国・釜山間の高速船「ビートル」の就航に尽力。その後、毎年大幅な赤字を計上していた外食事業を黒字化し、子会社化したJR九州フードサービスの社長に就任。2002年には、炭焼創業(そうさい)料理店、「赤坂うまや」の東京進出を果たす。2009年6月JR九州の社長に就任後、2011年に九州新幹線全線開業、国内最大級の商業駅ビル「JR博多シティ」開業と、2大プロジェクトも成し遂げた。九州を基盤に魅力あるまちづくりを目指す中で、外食事業の海外進出や農業などの新たな事業分野へも果敢に挑んできた。2013年10月に運行を開始したクルーズトレイン「ななつ星in九州」は、その企画から運行まで自ら陣頭指揮を執った。2014年6月、JR九州会長に就任。



## セッション 1 (講演)

15:35-16:05 Where the idea comes from?

イノベーションというテーマは「破壊的」「突飛な」「非連続的」といったキーワードで説明をされることが大半ですが、実際にイノベーションを生み出した人、イノベーションが生まれた仕事の話や、そういった言葉とは随分違った印象を受けます。1人、あるいはチームから生み出された、ある想い・アイデア・コンセプトが起点となり、新しい秩序が生まれ、その秩序に人々が惹きつけられ、そこに生態系が生まれていく。メソッドや法則とは言えないかもしれませんが、そういった傾向があるように思えます。そんな体系化されづらい、次の時代に必要なイノベーションを生むための、いわば「思考のジャーニー」についてお話ししたいと思います。

株式会社HAKUHODO THE DAY Executive Creative Director / CEO 佐藤 夏生

**プロフィール** 1996年博報堂入社、クリエイティブディレクターを経て、2013年ブランディングスタジオHAKUHODO THE DAYを立ち上げた。メルセデスベンツ、プリヂストン、アディダス、ナイキ等のグローバルブランドから、カゴメ、ZOZOTOWN等の国内ブランドの実績多数。CIからプロダクト、店舗、空間、広告キャンペーンまで、幅広いソリューションを生み出し続ける。国内外で数々の賞を受賞。2015年から渋谷区のクリエイティブアドバイザーも務める。



16:05-16:15 Break

## セッション 2 (対談)

16:15-17:00 「動かす言葉」～「言葉」で価値を共有する。言葉で「市場」を作り出す。～

- セッションを通じた気づきの共有
- 課題解決へ向けた質疑応答
- 課題解決へのヒント共有

九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 唐池 恒二 氏

株式会社HAKUHODO THE DAY Executive Creative Director / CEO 佐藤 夏生

**ファシリテーター** 株式会社 博報堂 ブランド・イノベーションデザイン局 イノベーションデザイン部 部長 岩崎 博論

**プロフィール** 博報堂において国内外のマーケティング戦略立案やブランドプロジェクトに携わった後、近年は生活者起点のイノベーションプロジェクトをリードしている。専門は、新製品・サービス開発、新規事業開発、UX戦略、ブランド戦略、マーケティング戦略、エスノグラフィ調査、プロセスファシリテーション。著書に『機会発見—生活者起点で市場をつくる』など。

